



# つぼみ桜

神原小学校だより  
令和7年度 1月号



太陽のようにエネルギーな年に！



明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も教職員一同、子どもたちのために、保護者や地域の皆様と連携を図りながら教育活動を推進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」です。「丙」は「火」を表し、太陽のような明るさや情熱、強い意志を象徴します。「午」は俊足で独立心が強い「馬」とともに、太陽が最も高く昇る正午を表し、「丙」と同じく「火」の意味があります。この2つの組み合わせである丙午の年に、子どもたちにも太陽のように燃え盛るようなエネルギーをもって、新しいことやあきらめかけていたことにしっかりと挑戦してほしいと思っています。

3学期は、50日足らずという一年間で一番短い学期ですが、学びのまとめと進級・進学に向けての準備を行うとても大切な期間です。学校では一人一人の成長を丁寧に見取りながら、次の学年へ自信をもって進めるように支援してまいります。ご家庭や地域におかれましても、引き続き温かい励ましや見守りをお願いいたします。

校長 大中 正浩

## ＜コミュニティ・スクールの取組～高校との連携～＞ 宇部高専の皆さん、ありがとうございます！

例年、各学年で宇部高専の出前授業を受けています。12月は4年生が、「松ぼっくりを使ったクリスマツツリーづくり」をしました。尿素を吹き付けた松ぼっくりやモールをドライヤーで温め再結晶化させ、雪のように白く変化させます。何度も作業を繰り返して素敵なツリーができました。



2年生は「スーパーボールづくり」に挑戦しました。紙コップにホウ砂と洗濯糊、蒸留水を入れて混ぜると「スライム」ができ、さらに食塩を加えると徐々にかたまりになり、弾力のある「スーパーボール」ができました。物が混ざることで、いろいろな性質に変わることの楽しさを体験できました。



## ＜地域では…「おもしろ遊びと工作教室」＞

### 餅つき体験

12月6日、神原地区ふるさと運動部会の皆さんによる餅つきが行われました。子どもたちは重い杵を一生懸命に振り下ろしながら餅をついていました。つきたてのお餅はとてもおいしかったようで、みんなお腹いっぱい食べていました。



### しめ縄飾り・ミニ門松づくり

12月27日には、ふるさと運動部会の今年度最後の行事で、しめ縄飾りとミニ門松づくりが行われました。慣れない作業に苦労しながらも、優しく丁寧に教えていただき、一人一人が立派な正月飾りを完成させることができました。

